

【5月11日（火）全校集会での校長の話】

今日からコロナによる2週間の学級休業から6年2組が復帰して、全校クラス、全校児童がそろいました。やはり1クラスがいない学校、ましてリーダーである6年のクラスがいない2週間は本当に寂しいものでした。6年2組の復帰を心から歓迎します。

今日から再び「堀溝家」として再スタートです。

みなさんの中にはご家庭の会話やニュースでの話題でコロナに対して「大丈夫だろうか」とか、コロナの発生した教室やその人は大丈夫だろうかという不安を持つ人もいるかもしれません。

しかし、その答えは「大丈夫」です。先日専門の業者が来られて校内を消毒しました。また、コロナに感染した人や濃厚接触者となった人も陰性となつてからも国が大丈夫と決めた期間を経て登校しています。だから大丈夫です。

ただ、ひき続き今までどおりのマスクや手洗い、換気、消毒はきっちりと行ってくださいね、

それともう一つ。堀溝小学校のみんなにはないことだと信じていますが、コロナにかかった人や濃厚接触者になった人、そのクラスをばい菌扱いしたり差別をしたりすることは絶対に許せないことです。

今や、だれがコロナに感染してもおかしくない状況です。好きでコロナに感染したり、悪いことをして、コロナに感染するわけではありません。自分自身も感染する可能性も大いにあります。その時にどうしてもらいたいか、ごのようにされたら嫌なのかを考えてください。

本校は「つながり」をテーマに、人にやさしく、人に寄り添うことを大切にしてきました。そのながれを歴代の児童のみんなは大切にしてくれています。今回のケースでも6年1組のみなさんは6年2組のみなさんのことに気持ちを馳せ、しっかりとした話合いをしていました。私は感動しました。

みんなでつながり力をあわせてこの苦しい「コロナ禍」に負けないで、できることを、できるだけ、新しい方法を編み出してつくっていきましょう。君たちならできるはずです。保護者や地域の方々も応援してくださっています。

みんなでがんばりましょう。